

社会福祉法人の事業展開等に関する検討会

2019.11.29

- 1 連携推進法人設立の背景
- 2 連携推進法人で実施している業務とその評価
 - ・ 連携推進業務、連携推進業務以外の業務
 - ・ 研修、人材交流業務（人材融通における人件費、連携法人の関わり方）
- 3 参加社員（社会福祉法人）からみた連携法人の取組評価
- 4 評議会の活動、地域の意見の反映方法
- 5 連携法人の今後の業務展開

<庄内二次医療圏>

<人口> 279,506人(2015年10月)

酒田市 106,267人 鶴岡市 129,630人

遊佐町 14,212人 庄内町 21,669人

三川町 7,728人

<救急告示病院>

3次救急医療機関:

* 日本海総合病院(646床)27科→630床

2次救急医療機関:

* 鶴岡市立庄内病院(520床)24科

* 鶴岡協立病院(201床)

* 本間病院(154床)

* 山形愛心会庄内余目病院(324床)23科

【高齢化率(2015年10月)】

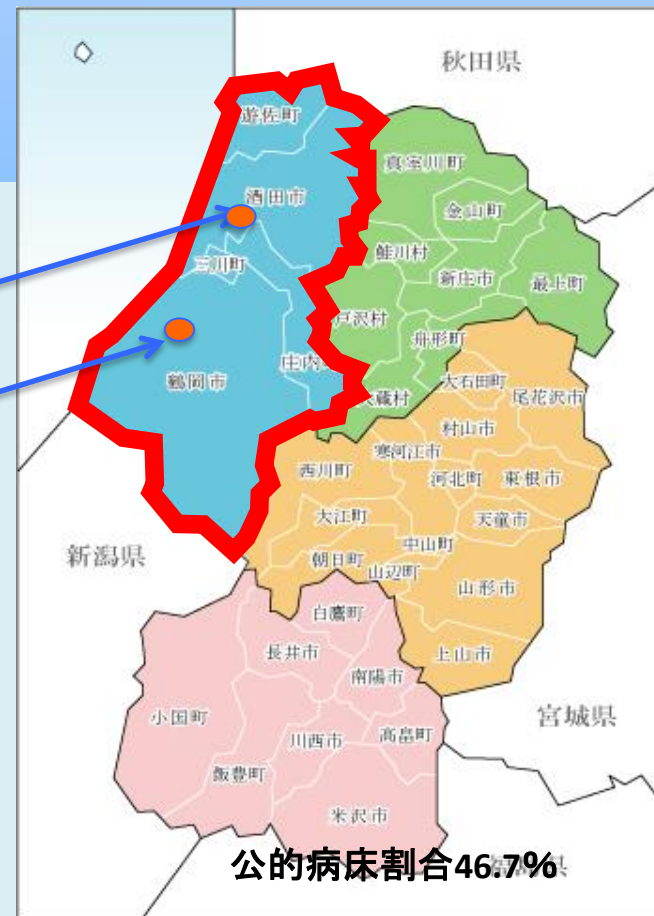
全国 20.7%

山形県 30.0%

庄内地方 30.8%

【出生率】

庄内地方6.4%



統合・再編について

山形県立日本海病院
(528床、25科、医師72人)



両病院の課題

- 1 山形県立日本海病院の赤字経営**
 - ・平成5年開院以来、赤字。不良債務の発生
 - ・施設整備に伴う元利償還(年約20億円)の負担
- 2 酒田病院の老朽化**
 - ・設備の老朽化(S44建設以来、約40年ほど経過)
 - ・早急な建替えが必要。400床のままで改築は難しい。それ以下だと経営が厳しい。
- 3 診療機能の重複**
 - ・診療科の重複(15科重複、ライバル関係、位置関係は直線距離2Km)
 - ・医師の分散配置(慢性的な過重労働、医師不足)

二次医療圏、北庄内地域の課題

- 1 医療制度改革への対応**
 - ・過剰な一般病床、不足する療養病床
- 2 高度・専門医療の充実**
 - ・がん死亡率が他地域よりも高い
- 3 三次救急医療機関(救命救急センター)がない。**

酒田市立酒田病院
(400床、15科、医師40人)



平成20年4月 再編・統合

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構が発足

課題への取組み

- 1 病院機能の分化・集約**
 - ・日本海病院は急性期中核病院(増築・増床)、救命救急センター設置
 - ・酒田病院は療養・回復期病院として、病床を削減し全面改修
 - ・病床数の調整(日本海+118床、酒田-286床、合計:168床削減)
→ 平均在院日数: 約6日短縮、手術件数: 年間1,000件増加
- 2 診療科の再編、医師の集約**
 - ・急性期機能集約のため、増築工事を実施。段階的に市立病院から診療科を移行、再編した。
 - ・診療科の再編、移行にあわせ医師を日本海へ集約
→ 両病院の医師数: 112人(H19) → 158人(R1) 46人増加
- 3 その他の取組み**
 - ・ICTネットワーク「ちようかいネット」にて診療録を全開示(地域連携)
 - ・スタッフ職員制度の創設等、働きやすい職場環境づくり
 - ・独法ならではのスピード感のある意志決定による運営
→ 例: 職員採用、高度医療機器の導入、職員宿舍・保育施設の拡充

日本海総合病院
(634床、27科、医師154人)



酒田リハビリテーション病院
(114床、2科、医師4人)



現在の病院機構の概要と経営状況等

病院機構概要図

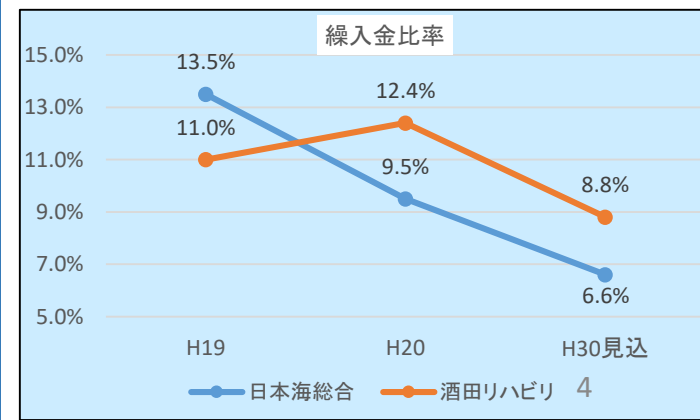
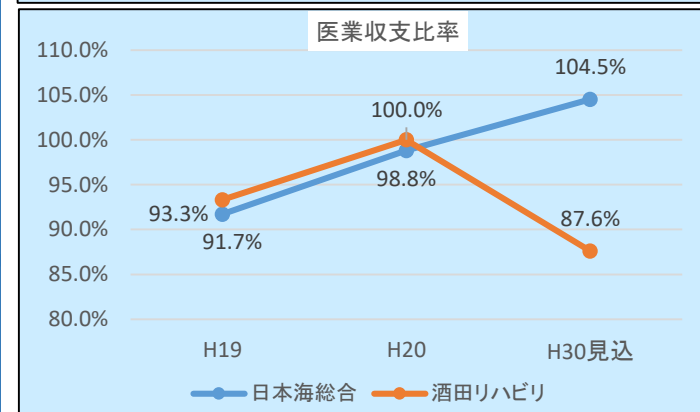
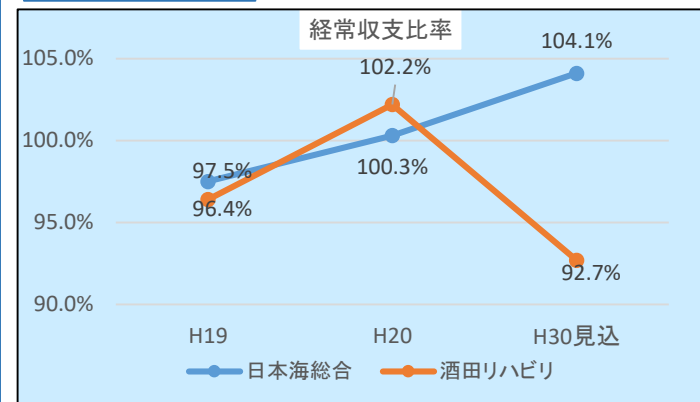


病院等概要

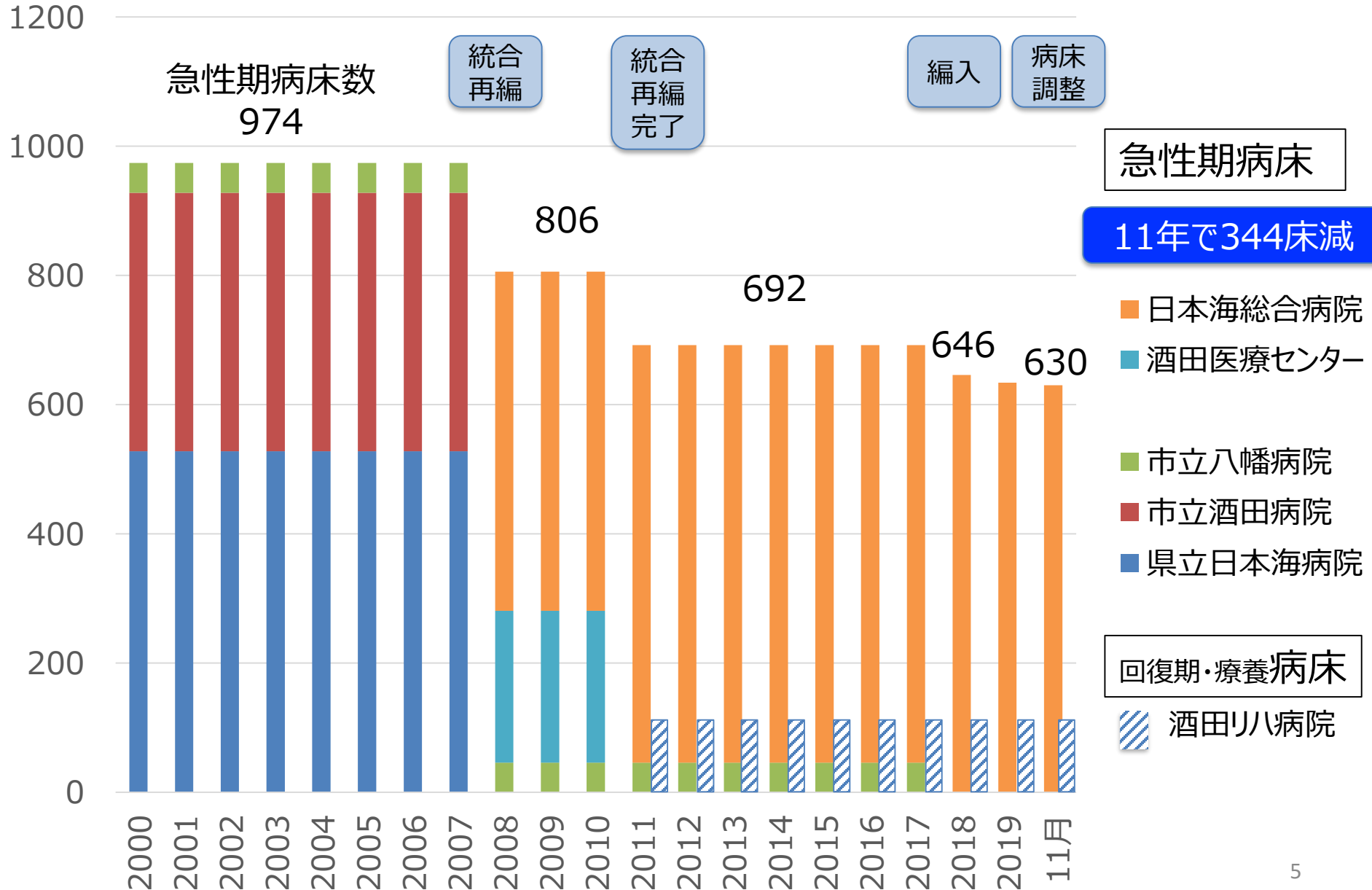
病 院 名	日本海総合病院
診療科目	27診療科
職 員 数	997名(H31.4.1) ※非常勤含まず
病 床 数	634床
患 者 数	年間患者延数(一日あたり) 入院 190,615人(522.2人) 外来 344,090人(1,410.2人)
	病床稼働率…80.8% 平均在院日数…11.4日
経常利益	約8億1千2百万円(H30見込)

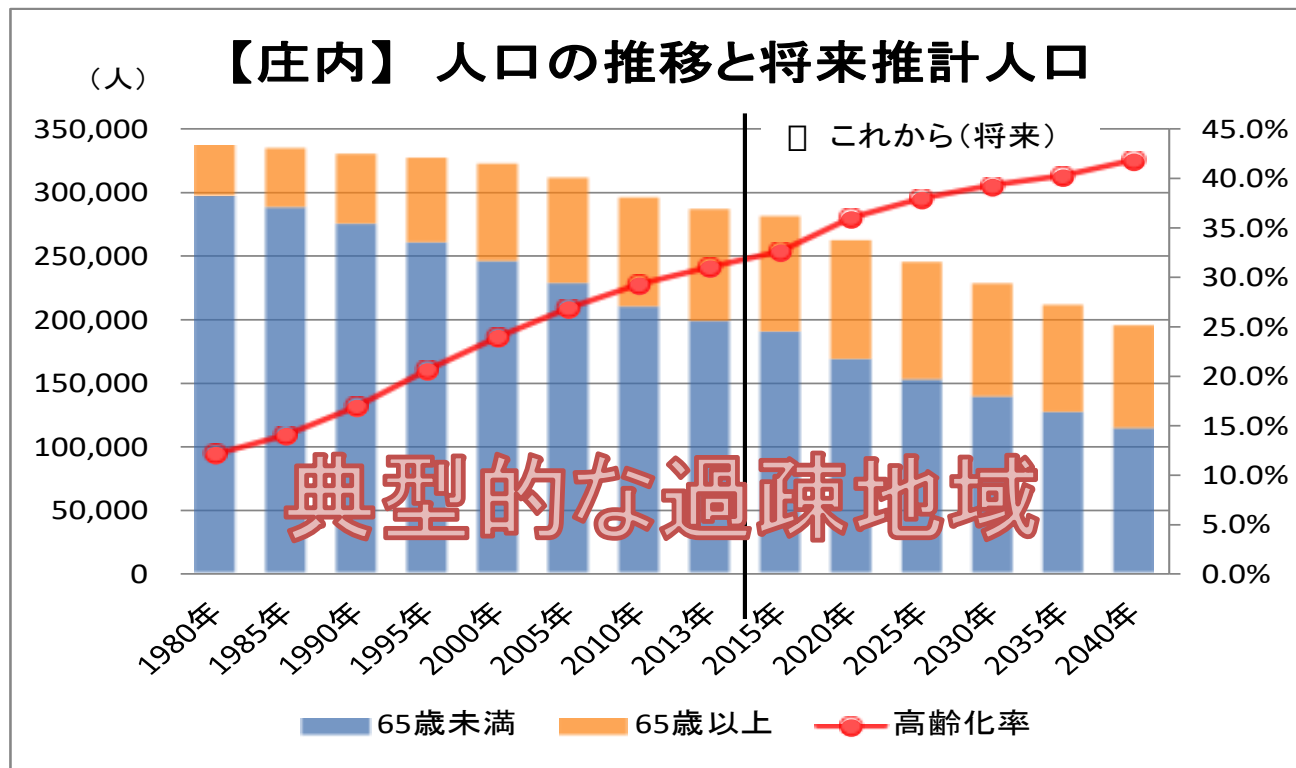
病 院 名	日本海酒田リハビリテーション病院
診療科目	2診療科
職 員 数	114名(H31.4.1) ※非常勤含まず
病 床 数	114床
患 者 数	年間患者延数(一日あたり) 入院: 36,933人(101.2人) 外来: 357人(1.5人) 病床利用率…88.8% 平均在院日数…51.5日
経常損失	▲約9千7百万円(H30見込)
診療所名	日本海八幡クリニック等診療所
職 員 数	14名(H31.4.1) ※非常勤含まず
病 床 数	無床(46床削減、H30.3.31)
診療科目	4診療科, 訪問診療, 訪問看護, 遠隔診療
経常利益	約2千5百万円(H30見込)
	※患者数等の数値は、H30年度実績

経営状況



当機構における統合・再編・編入による病床数変化





山形県 **庄内** 二次医療圏（酒田市・鶴岡市・遊佐町・庄内町）

人口 **27万人**（2018年推計）

面積 2,405km²

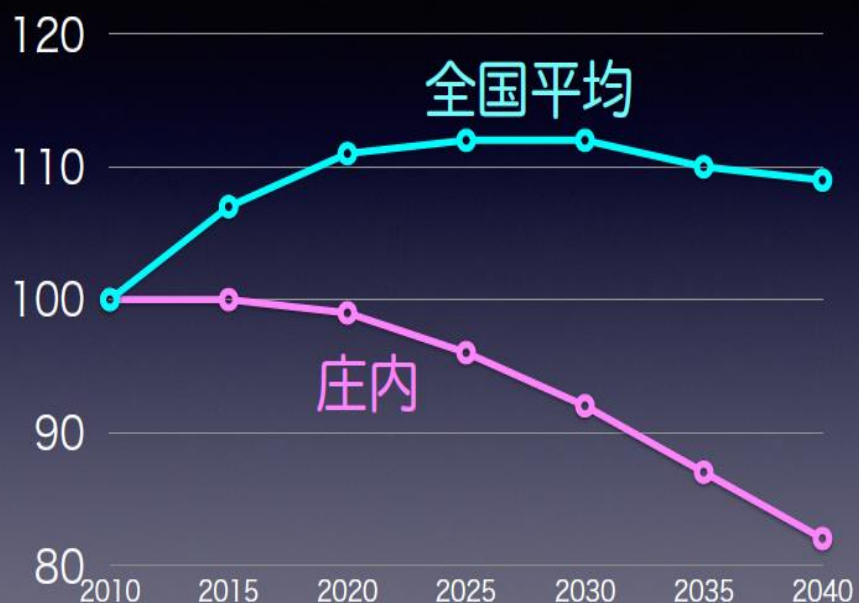
高齢化率 **33%**（2016年）

出生率 6.4 ‰

医師数 **199人**（人口10万当り）

今後の医療介護需要予測(酒田市)

需要予測：医療



2015年が需要ピーク

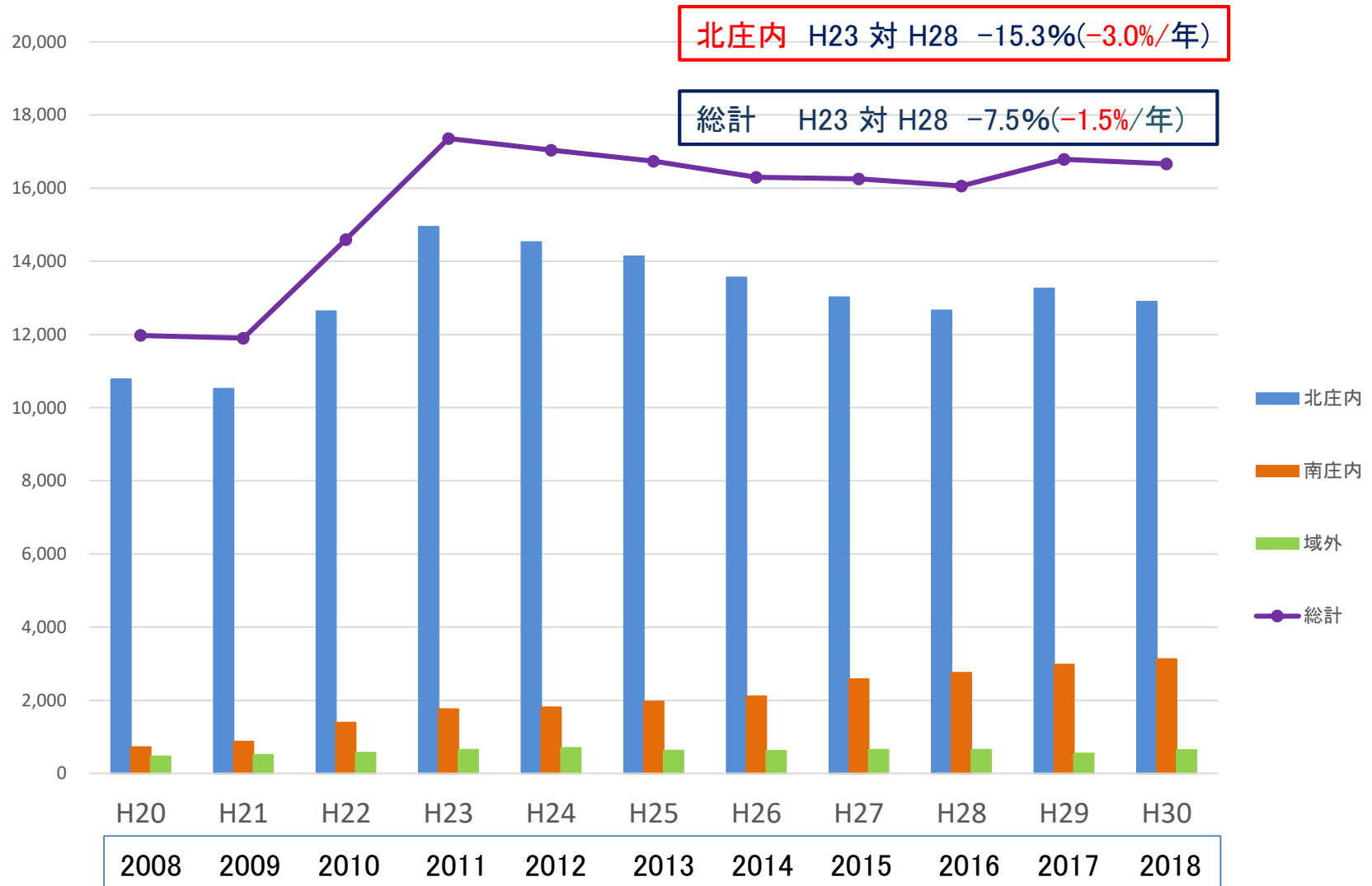
- 後期高齢者人口は、2030年が最大、2015年比112%
- 医療需要は2015年には既に減少を始めており、介護についても2030年にピークを迎えるが、2015年比108%であり、大きな需要増は見込めない
- 需要は現在の利用率を元に推定、今後は自己負担額の増加などの利用率低下策が強化される可能性あり、推計値より下回ることも十分に考えられる

新入院患者(日本海総合病院)

(人)

北庄内の人口減少率
1.0%/年(5.1%/5年)
南庄内の人口減少率
1.0%/年(4.9%/5年)

新入院患者数



北庄内における議論開始

- (1) 最大の課題は進む地域の急速な人口減、過疎化、高齢化、
2040年には庄内地域の人口が20万人を切る予測
 ➡ 少子化により自治体消滅の危惧。地方の大縮小時代
- (2) 持続的な健全経営をどう維持するのか
- (3) 各職種、職員の安定的な確保・・・**若者の雇用への信頼感**
- (4) 地域医療構想への迅速な対応(病床数等の変化)
- (5) **地域包括ケア、地域全体で対応を進めるべき・・・**
 施設最適化から地域最適化へ
- (6) 地域医療情報ネットワークのさらなる充実

**地域全体の費用管理で生じる参加法人の経営課題に対し、
連携推進法人間で業務調整を通じ経営の全体最適化を目指す**

持続的、安定的経営、雇用の確保

- (1) 病院経営を**病院単体で考える時代は終わり**
- (2) 運営主体がそれぞれ独立したままで機能分担しようとしても、
経営上の利害がぶつかるためうまくいかない
- (3) 複数の病院がグループ化し、病床や診療科の設定、医療機器設置
共同購入などの効率化を
 - ・・・**医療は地域の資金、資本流出に深く関与**
- (4) 病院単独ではなく地域で医療費用を効率化できる仕組みが必要
- (5) 医師不足、看護師不足、医療技師不足への具体的な対応必須
- (6) 少子高齢化、過疎化対応仕様を
 - ◎**地域での消耗戦を際限なく続けることを終わりに**
 - ・・・時間はあまり残されていない

法人設立まで経過

STEP1 H28.4.26

■5法人による勉強会

□制度内容、参加意向の確認・・・必要性認識

STEP2 H28.6.15～

■実務者会議開催（実務者出席、以降毎月開催）

□共同事業等の確認・・・本音で協議

STEP3 H28.9.13～

■設立協議会の開催（代表者出席、以降5回開催）

□新法人設立へ向けた事項の協議、決定（議決権、定款等決定）

□前倒し事業の実施（維持透析機能の集約化、人事交流）

□基本合意書の締結（酒田市内9法人間）

STEP4 H30.2.1

■一般社団法人日本海ヘルスケアネット設立

STEP5 H30.4.1

■地域医療連携推進法人の認定（山形県知事）

日本海ヘルスケアネット 参加法人概要

N o.	法人名	病床数等規模	診療科	職員数	備考
1	(地独) 山形県・酒田市病院機構	◆日本海総合病院 一般等 646 ◆酒田リハビリ 療養 35,リハ 79 ◆八幡クリニック,他	27診療 内科,リハ科	1,116	救命救急センター、ヘリポート、PET-CT等 回復期リハ、デイケア等 診療所、離島、僻地医療
2	(一社)酒田地区医師会	◆会員数 195		16	訪問看護ステーション、他
3	(一社)酒田地区歯科医師会	◆会員数 74		1	
4	(一社)酒田地区薬剤師会	◆会員数 146		7	会営薬局、他
5	(医)健友会	◆本間病院 一般 80,療養 50 地域包括ケア 24 ◆老健施設 100,他	内科,外科, 整形外科,泌尿器科	472	介護老健 訪問看護ステーション 地域包括支援センター 有料老人ホーム、他
6	(医)山容会	◆山容病院 精神 220,他	精神科	202	急性期、社会復帰、認知症等(病棟機能) グループホーム
7	(医)宏友会	◆上田診療所 6 ◆老健施設 100,他	外科,胃腸科, 肛門科等	160	介護老健 在宅介護支援センター 地域包括支援センター 訪問看護ステーション、他
8	(社福)光風会	◆老健施設 100,他		309	介護老健、地域包括支援センター 特別養護老人ホーム、他
9	(社福)かたばみ会	◆特養施設 80,他		98	特養老人、ショートステイ 多機能、他
10	(社福)正覚会	◆特養施設 80,他		186	特養老人、ショートステイ グループホーム、他
		ベット数 2,000強 (各施設定員数も含)		2,567	12

日本海ヘルスケアネットの地域でのシェア

		(日本海ヘルスケア)	酒田市	北庄内
病 院	病床数	1,122床	1,242床	1,650床
	シェア		(90%)	(68%)
老人保健施設	定員	300人	480人	640人
	シェア		(63%)	(47%)
特別養護老人 ホーム	定員	319人	748人	1,146人
	シェア		(43%)	(28%)

北庄内 ： 酒田市、遊佐町、庄内町

参加法人の課題

地区医師会	医師数減と高齢化（特に小児科） 経営安定 休日診療所、学校医、訪問看護ステーションの運営（ スタッフ確保 ）
地区歯科医師会	歯科医師高齢化 新入会員減 スタッフ確保 経営 訪問歯科における医科連携
地区薬剤師会	保険薬局の展望、 運営 後継者 スタッフ減 （在宅参加困難） 多職種連携 薬剤師不足
病院機構	経営安定化 サテライトの健全経営 医師確保 医療人材確保
本間病院	役割明確化 経営安定 医師、看護師、介護職不足
山容病院	常勤医師確保 専門職確保 ヘルスケアネットにおける役割 認知症地域パス作成 専門医研修施設周知 経営
宏友会	地域医療構想下の役割明確化 在宅復帰施設としての機能 事業所規模縮小 人材確保 経営安定
光風会	災害対策施設整備 医師確保 スタッフ確保 利用率向上
かたばみ会	スタッフ確保 医療依存度の高い重介護者 健全経営

参加法人からの基礎資料提出

- 施設概要、職種別職員数、年齢構成
- 患者動態、入所者数等の事業概況
- 財務諸表などの経営関連資料を全て提出
- 委託業務リスト、業務量、委託料
- 薬品リスト、価格
- 画像、検体検査、件数、外注実績、関連収益と経費
- 手術件数
- その他、業務調整に係る関連資料全て

健友会との打合せ

(1) 応援医師について 【日当直医、内視鏡医】派遣支援の合意

- 1、応援医師に係る費用状況(高い!)、具体的な派遣希望案提出
- 2、支援のための院内調整

(2) 維持透析について 【維持透析機能】集約化の合意

- 1、集約化後(平成30年)の運用体制に係る職員採用・派遣の計画化
- 2、送迎バスサービスの共同運行を実施
- 3、使用システム統一化の検討

(3) 検体検査部門について 【検体検査機能】集約化の検討

- 1、検査センター(仮)の運営プラン、スケールメリットの試算を作成

(4) 手術について 【日本海総合病院へ集約化】

(5) 療食業務の外部委託と費用見積もり比較

(6) 電子カルテ

- 1、共用サーバー処理の検討、共同更新への調整、患者統一ID 共通パス

(7) 出資、持分の検討 友の会会費分約10億

(8) 設立理念に係る考え

連携事業の状況①

項 目	業務内容、課題等																																																		
人事交流／派遣体制の整備／ 職員の共同研修	人事交流																																																		
	令和元年12月見込み																																																		
	<table><tr><th>出向元</th><th>出向先</th><th>職 種</th><th>人 数</th><th>備 考</th></tr><tr><td>健友会</td><td>病院機構</td><td>医師</td><td>3 名</td><td>平日診療</td></tr><tr><td>病院機構</td><td>健友会</td><td>医師</td><td>3名</td><td>水土日の宿日直</td></tr><tr><td>病院機構</td><td>光風会</td><td>医師</td><td>1 名</td><td>産業医</td></tr><tr><td>病院機構</td><td>健友会</td><td>看護師</td><td>3 名</td><td>透析室</td></tr><tr><td>病院機構</td><td>宏友会</td><td>看護師</td><td>3 名</td><td>診療所、老健</td></tr><tr><td>病院機構</td><td>医師会</td><td>看護師</td><td>1 名</td><td>訪問看護</td></tr><tr><td>病院機構</td><td>山容会</td><td>薬剤師</td><td>1 名</td><td>山容病院</td></tr><tr><td>医師会</td><td>健友会</td><td>事務</td><td>1 名</td><td>介護</td></tr><tr><td>宏友会</td><td>病院機構</td><td>看護師</td><td>1 名</td><td>訪問看護</td></tr></table>	出向元	出向先	職 種	人 数	備 考	健友会	病院機構	医師	3 名	平日診療	病院機構	健友会	医師	3名	水土日の宿日直	病院機構	光風会	医師	1 名	産業医	病院機構	健友会	看護師	3 名	透析室	病院機構	宏友会	看護師	3 名	診療所、老健	病院機構	医師会	看護師	1 名	訪問看護	病院機構	山容会	薬剤師	1 名	山容病院	医師会	健友会	事務	1 名	介護	宏友会	病院機構	看護師	1 名	訪問看護
	出向元	出向先	職 種	人 数	備 考																																														
	健友会	病院機構	医師	3 名	平日診療																																														
	病院機構	健友会	医師	3名	水土日の宿日直																																														
	病院機構	光風会	医師	1 名	産業医																																														
	病院機構	健友会	看護師	3 名	透析室																																														
	病院機構	宏友会	看護師	3 名	診療所、老健																																														
	病院機構	医師会	看護師	1 名	訪問看護																																														
病院機構	山容会	薬剤師	1 名	山容病院																																															
医師会	健友会	事務	1 名	介護																																															
宏友会	病院機構	看護師	1 名	訪問看護																																															
その他																																																			
・各参加法人の採用計画、不足する職種等の情報共有【H30.6～実施】 ・退職予定者へ参加法人の職員募集状況を情報提供【H30.7～実施】 ・定年を迎える医師の就労機会の確保 ・職員研修の共同実施（研修会への参加の呼びかけを相互に実施）																																																			
維持透析機能の重点、集約化	・日本海HPの慢性維持透析患者を本間HPへ【H29.6～実施】 ・患者増に対応する施設・機器の整備 ・看護師の増員（病院機構から出向） ・送迎バスの増便 ・本間HPでR元年12月から維持透析20床増床																																																		

17

人事交流の状況

令和元年9月1日現在

出向元	出向先	職 種	人 数	備 考
健友会	病院機構	医師	3 名	平日診療
病院機構	健友会	医師	2 名	土日の宿日直
病院機構	光風会	医師	1 名	産業医
病院機構	健友会	看護師	3 名	透析室
病院機構	宏友会	看護師	3 名	診療所、老健
病院機構	光風会	看護師	1 名	老健
病院機構	医師会	看護師	1 名	訪問看護
宏友会	病院機構	看護師	1 名	訪問看護
病院機構	山容会	薬剤師	1 名	山容病院
医師会	健友会	事務	1 名	介護

その他

- ・各参加法人の採用計画、不足する職種等の情報共有【H30.6～実施】
- ・退職予定者へ参加法人の職員募集状況を情報提供【H30.7～実施】
- ・定年を迎える医師の就労機会の確保
- ・職員研修の共同実施（研修会への参加の呼びかけを相互に実施）

出向職員人件費（H30年度実績）

	合 計（9名）		
	出向先	出向元 （山形県・酒田市病院機構）	差 額
給料額(年額)	28,935,410	37,277,700	8,342,290
通勤手当	532,200	630,000	97,800
住居手当	0	294,000	294,000
超過勤務手当	281,977	781,666	499,689
夜間看護等業務手当	870,416	525,003	-345,413
特殊勤務手当その他手当	717,750	1,164,910	447,160
賞与額(業績手当含む)	8,244,664	15,853,228	7,608,564
共済費負担金	5,936,790	8,542,843	2,606,053
雇用保険負担分	233,117	340,404	107,287
合 計	45,752,324	65,409,754	19,657,430

- ・出向元は、出向元の給与制度により計算した額を本人に支給する。
- ・出向先は、出向先の給与制度で計算した額(上記額を上限とする)を出向元に納付する。

応援医師の状況について①

病院機構が受けている応援医師の状況（庄内地域のみ）

派遣先	派遣元	医師数	診療科	業務内容	日数
日本海総合病院	本間病院	1人	外科	手術応援	週1日程度
	本間病院	1人	循環器内科	診療業務	週1日程度
	遊佐病院	1人	麻酔科	手術応援	月2日程度
	開業医ほか	1人	眼科	救急診療対応	月2日程度
	開業医ほか	1人	耳鼻咽喉・ 頭頸部外科	診療業務	月1日程度
	開業医ほか	1人	消化器内科	診療業務	週3日程度
	開業医ほか	1人	整形外科	診療業務	週1回程度
	開業医ほか	1人	精神科	診療業務	月4回程度
	開業医ほか	1人	内科	診療業務	週1回程度
	開業医ほか	1人	麻酔科	手術応援	週3日程度
	開業医ほか	1人	病理診断科	診断業務	年1回
酒田リハ病院	医師会	1人		日直業務	週1回程度
	医師会	1人		宿直業務	週2回程度
合 計		13人			

応援医師の状況について②

病院機構が行っている応援医師の状況（庄内地域のみ）

派遣先	派遣元	医師数	診療科	業務内容	日数
本間病院	日本海総合病院	1人		日直	月2回程度
本間病院		3人		日宿直	月2回程度
鶴岡市立荘内病院		1人	耳鼻咽喉科	診察業務	週1回程度
鶴岡市立荘内病院		1人	心臓血管外科	診療業務	週1回程度
鶴岡市立荘内病院		1人	呼吸器外科	診療業務	週1回程度
山容病院		1人	精神科	当直業務(-22:00まで)	月2回程度
山容病院		1人	精神科	外来業務	週1回程度
三川病院		1人	精神科	当直業務	月3回程度
検診センター		1人	内科	内科検診	月1回程度
検診センター		1人	産婦人科	子宮頸がん検診	週1回程度
検診センター		1人	外科	乳がん検診	週1回程度
開業医ほか		1人	消化器内科	診療業務	月1回程度
合計		14人			

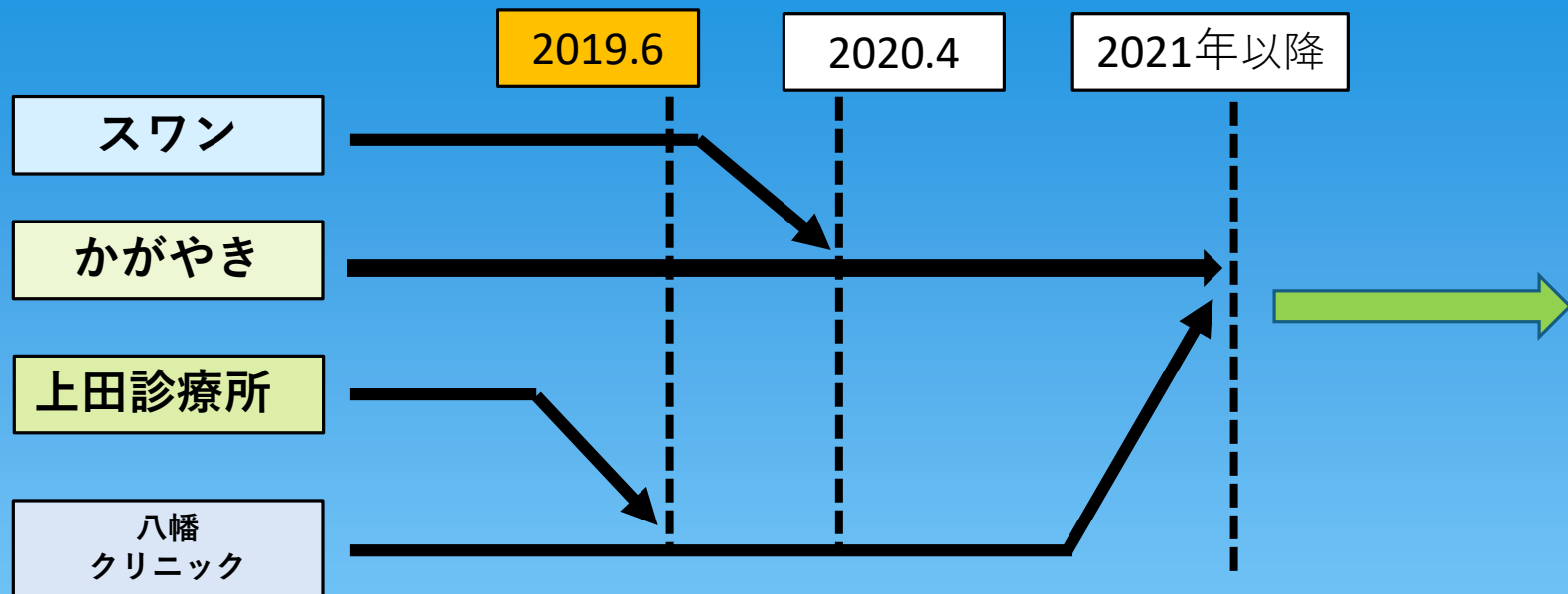
連携事業の状況②

項 目	業務内容、課題等
診療機能の重点、集約化	・急性期機能の集約化(救急、手術部門等の調整)【H29.3～検討開始】 → 日本海総合病院に集約する方向性を確認 → 高額医療機器等の更新と連動した考え方が必要
地域フォーミュラリ	○薬剤の有効性、安全性、経済性を検討し、地域での推奨薬を選定する。 【H30.11～実施 現在6品目】 ・薬剤師会の地域フォーミュラリ検討会で基礎データを収集・分析 ・日本海ヘルスケアネットの地域フォーミュラリ作成運営委員会と協議会での検討・議論を経て、最終的に理事会で議決承認。 ・現在6薬剤について実施中 ①PPI ②α-GI ③ARB ④スタチン ⑤バイオシミラー ⑥ビスホスホネート ・当面、6薬剤の地域への周知徹底と効果の検証に取り組む。
病床調整	○連携推進法人内の病院間における病床の融通(地域医療構想推進) ・日本海総合病院の休床中の急性期病床4床を本間病院に移譲(療養病床)

連携事業の状況③

項 目	業務内容、課題等
訪問看護ステーションの再編・統合	○4参加法人が実施している訪問看護ステーションを再編統合することで、機能の充実、効率化及び経営の安定化を図る。 ・宏友会上田診療所の訪問看護を病院機構八幡クリニックに統合 (R元年6月～) ・医師会ステーションを健友会ステーションと統合 (R2年4月予定)
検査機能の重点、集約化	○経費の削減を図るため日本海総合病院に検査機能を集約 ・センター化と部門システムの連携等を含む運用方法の検討【H29.3～検討開始】 ・日本海総合病院検査部 ISO15189 取得【H30.8】 ・費用削減効果の試算 →現状では他病院、診療所のメリットが見込めないため中断
電子カルテ等の共有	○電子カルテの共有化に向けた検討・協議【H29.3～検討】 ・病院機構以外の病院、診療所のコストが増加、患者IDの共通化、会計システムとの連動などの課題あり。 →本間病院の電子カルテの更新時期を踏まえ継続協議。
高額医療機器(CT、MRI等)の共同利用	○高額医療機器の二重投資回避による経費の削減 ・高額医療機器一覧の作成、費用、収支等の把握【H30.5～実施】 ・そのためには、機能分担の明確化が必要(手術、検査等の機能集約化)
薬品・診療材料・委託業務等の共同交渉	○スケールメリットと二重投資回避による経費の削減 ・参加法人の購入単価の比較等を実施 →現在のところ経済的メリットが見込めないため中断

訪問看護ステーションの再編



- 1、 上田診療所⇒八幡クリニック
2019年4月～6月 患者説明、資料引き継ぎ、出向契約、車両契約、システム移管、
6月～宏友会から八幡に職員1名出向、患者移管
- 2、 スワンとかがやきの統合
2020年4月にスワンをかがやきに統合
4月24日、第1回調整会議
・統合スケジュール ・継承施設 ・職員移管にかかる調整(給与、退職引当金) ・継承財産(車両等)
・システム統合 ・その他
- 3、 八幡クリニックの訪問看護ステーションについては病院機構の次期中期目標、中期計画策定において、
「かがやき」との統合を含め在り方検討(今年度中)

連携事業の状況④(介護関連)(調整中、予定)

項 目	業務内容、課題等
医療・介護の連携強化	・当地区における地域包括ケアのあり方の検討・協議【H29.7～検討】 ・統一的な退院支援、退院調整ルールの策定や地域連携クリティカルパスの充実を図る。 ・施設情報、患者情報の共有をICTを利用し行う。 ・要介護者の急変時に対応できるよう病院、訪問看護ステーション等との連携体制強化を図る。 ・医療、介護の人材確保、教育を共同で実施する。 ・介護事業所を持つ参加法人間で役割分担を明確化し、業務の効率化を図ると共に、24時間対応できる体制作りや新たな業務(訪問リハビリ等)の検討を行う。 ・医療、介護、介護予防、住まい、生活支援等のサービスを包括的に提供できる地域包括ケアシステムの構築に向けた地域の取り組みの支援。 ・ちようかいネットを活用し、在宅患者をチームで支える多職種の連携を強める。
口腔ケアの連携	○病院、老人保健施設、老人介護施設、在宅等の口腔ケアの共通シートを作成し、病院、施設間の多職種で共有し、ケアプランに反映できる仕組みをつくる。
複合型介護施設の整備	○山容会が計画する複合型介護施設への支援 ・連携推進法人の理事会での調整・助言を踏まえ山容会が設置を申請。 ・補助金決定し、現在建設中。

連携事業の状況⑤

項 目	業務内容、課題等
地域での財務連結	○連携推進法人全体の「数値」を「見える化」することで、地域への波及効果の検証や具体的な課題の抽出等に活用。 ・外部コンサルに委託(R元年9月～)
広報	・共通ロゴマーク作成・表示【H29.4～実施】 ・ホームページの開設【H30年度～実施】 ・患者・住民向け講演会の開催【H31年4月実施】
情報共有	連携推進法人内の情報共有の仕組みを整備。 ・理事会、社員総会、評議会、ワーキングの状況等の資料 ・病院・施設等の空床情報 ・災害時の情報共有等
出資・基金の拠出	○連携推進法人及び参加法人が持続可能な経営を行うため必要な資金の調達 →地方独立行政法人、社会福祉法人は出資不可。法整備が必要

参加法人の連携効果について

(‘19.7.17日本海HCN理事会～参加法人H30年度決算報告より)

山形県・酒田市病院機構	・各法人が退院後受入先として協力、平均在院日数の短縮や施設基準の維持に寄与。 ・維持透析患者集約化により透析導入期患者への対応に専念可能となった。 ・職員の出向により、様々な経験や意見交換をすることができ、スキルアップ
健友会	・維持透析受入(+7.0人/日)による医業収益増(約59百万円/年) ・日本海総合病院からの紹介入院患者増により、安定的な入院患者の確保。 ・病院機構の応援医師により休日の診療体制の確保。
山容会	・新規事業(複合介護施設)計画への支援、薬剤師出向による業務確保
宏友会	・看護師出向(診療所1名、老健2名)により、質の高い介護提供及、過重勤務シフトの緩和を図り、また、老健施設の在宅強化型の算定を取得。
光風会	・老健施設へ看護師出向1名、利用者サービスの充実、安心安全の提供に。 看護職員のスキルアップにつながっている。
酒田地区医師会十全堂	・平成30年度、訪問看護ステーションスワンに、看護師2名の出向、看護師不足が解消、機能強化型訪問看護ステーションを取得。出向看護師より最新の医療情報等教えてもらう等、スワン看護師の考え方や視野拡大等効果。・事務職を他法人に出向、適材適所に。
酒田地区歯科医師会	・研修会等への参加による職員のスキルアップ ・日本海総合病院の入退院センターへ歯科医師会の関わりを検討。口腔ケアの共同事業化
酒田地区薬剤師会	・地域フォーミュラ導入による薬剤費の削減及び薬剤在庫の縮減。
かたばみ会	・地域医療の現状等把握及び今後の動向について情報共有、職員のスキルアップ ・社会福祉法人としての地域医療との連携について将来見通しがついてきた。

参加社会福祉法人からの意見

○光風会(社会福祉法人)

- ・老健施設への**看護師出向1名**により、利用者サービスの充実、安心安全の提供につながった。また看護職員のスキルアップにつながった。

○かたばみ会(社会福祉法人)

- ・連携推進法人主催研修会参加による職員のスキルアップ
- ・地域医療の現状等把握及び今後の動向について情報共有の機会を得たことにより、地域包括ケアシステムへの参画意義などが理解でき、社福としての地域医療連携について、将来見通しがついてきた。

○正覚会(社会福祉法人)

- ・来年退職予定**嘱託医の補充見通し**がついた

社会福祉法人の医師配置（酒田市）

	酒田市所管	山形県所管	国所管	合計
社会福祉法人数	24	1	0	25
うち介護事業をしている法人	10	1	0	11
医師配置の必要な施設	11	酒田市内 2	0	13
（特別養護老人ホーム）	（10）	（2）		（12）
（老人保健施設）	（1）			（1）

評議会

評議員

所属・役職	区分
山形県庄内総合支庁保健福祉環境部長	医療連携推進区域が属する自治体の担当者等
酒田市健康福祉部長	//
鶴岡地区医師会長	地域の医師会・歯科医師会を代表する者
社会福祉法人 酒田市社会福祉協議会長	患者団体を代表する者
東北公益文科大学公益学部公益学科 地域福祉コース教授	//

※評議会は年1回開催。

※理事会の資料を毎回送付し、情報を提供している。

地域医療連携推進法人の 今後の業務展開と運営方針

◎地域の医療、介護事業⇒経営を持続可能にする

⇒地域全体の黒字経営を目指す

⇒経費管理を地域連結で行う

⇒業務調整を介して地域の医療、介護報酬を再配分

◎地域の変化に合わせた新しい「非営利医療介護複合事業体」
を創設する